

「毘沙門天」 修復事業

〈御寄進のお願い〉

不動堂にお祀りしております「毘沙門天」像の傷みがひどく、修理が急がれる状態になっております。

そのため、この度、再来年度より、京都の美術院において修復作業を行うことになりました。

長きにわたり多くの方の信仰を受けてきた仏様を次の時代に繋げていくために、この度の修復にあたり、皆様のお力をお借りしたいと存じます。

御寄進額はご自由です。千円以上を御寄進頂いた方には、ご返礼と致しまして、如意寺の毘沙門天を描いた「毘沙門天」特別御朱印（紺紙に像を金箔押し）をご用意しております。また額に応じて、御礼させていただきます。皆様のご協力をお願い申し上げます。



御寄進は本堂、総受所にある封筒にお入れ頂き、総受所にてお渡しください。その際に返礼の御朱印をお渡しいたします。

郵便振替の場合：加入者名：如意寺〈00900-5-52927〉

謹賀新年

新年にあたり皆様様の1年のご多幸を祈念申し上げます。

初詣は一月中に、混雑を避けてゆつくりお参りください。

◆新春特別護摩祈願

随時、受所にてお申込みください。郵便、FAX、HPでも申込み可。※ご参拝できない方にはお札をお送りいたします。

家内安全・厄災消除・商売繁昌・息災健康・その他 各二千円



節分星祭護摩祈願

2月1日(火)～3日(木)

皆さまの息災を祈り、護摩祈願を行います。

1月～当日にお申込みください。

家内安全・厄災消除・商売繁昌 — 2000円
その他 — 1000円

関西花の寺二十五ヶ所霊場会

第二十三回 花法要 於如意寺

「花法要」は、年一回、いずれかの札所に全寺院が集まり、この自然の中で生かされていることに感謝し、人々の幸せと安寧を祈る催しです。ご参加自由ですので、またとないこの機会に是非お参りください。

◇法要と式典 午前十時半～午後十二時半頃

法話や京都の伝統庭師様のお話もあります。

この間、本堂でも境内でもご自由にご参拝ください。

◇津軽三味線(花法要バージョン)演奏

正午からです。

◇紅白祝い餅配布

午後十二時二十分頃 (先着三百名様)

ミツバツツジ、桜、シャクナゲなど
如意寺の花の最盛期です。



御祈祷

毎日(午前9時～午後3時半)

家内安全・厄除け・商売繁昌
交通安全(車破い)・安産祈願

病氣平癒・学業成就・合格祈願
息災健康・心願成就 など

仏前結婚式・水子供養
地鎮祭・永代供養

代理の方でも結構です。
ご都合で来られない場合は
お札を送ります。
ご連絡ください。

HPもご覧下さい。

日切不動尊大祭 四月一日(金)

柴灯大護摩供・法話・もちまき

護摩祈願は当日にお申込みください。
(3月から予約申し込みできます。)



如意寺の一年

1月1～3日

初詣



2月1～3日

節分会



4月1日

日切不動尊大祭



4月10日

花法要

四季の花々が
年間多種
咲き移ります。

みつばつつじ
4月上旬～中旬



8月9日(本尊会)

千日会

毎月一日には
「不動さんの縁日
があります。」



萩

10月～11月

七五三

紅葉



新年あけましておめでとうございます



大変な二年

およそ1年10ヶ月におよぶコロナ禍をくぐり抜け、新しい年をむかえました。

皆さま、大変な二年間だったこととお察し申し上げます。

私たちは、自然のこわさや人のよわさに気づいた一方、ワクチンをつくったり、励ましあったり、がまんしたり、いろいろなアイデアを出すなど、人間の可能性を改めて感じる機会でもありました。これから生まれる世の中がよりよいものになることを祈ります。

新しい自分になる！

私たちは、ご先祖をはじめ、多くの人のお陰で今を生きています。過去に多くの恵みを受けたおかげで、〈今日・ここ〉に生かされていることに感謝したいとおもいます。

時間はつながっています。よい過去、恩恵、受けたお陰などは忘れてはなりません。

一方、仏教に「^{せんごさいだん}前後裁断」という“ことば”があります。前と後は断ち切られている。「昨日は終わり、明日はまだ来ない。今を大切にしよう」ということです。寝て起きたら新しい日のスタート。廊下から教室に入ればがんばる時間。「ごめんなさい」とあやまって頭を上げたらもう許しあった関係。後悔がふっきたら新しい私・・・。

くり返したくない過去は洗濯して、まっさらにししましょう。そして、サッパリしたシャツで出かけましょう。

そう、過去と現在も、現在と未来も、切りはなされているのです。

「よかったね」と言える今日にししましょう。きっと、素晴らしい未来（明日）がやってきます。

雲の上はいつも晴れ。大丈夫です。

南無大師遍照金剛



如意寺の歴史⑳ (平成) 《その1》

「花の寺」如意寺へ

激動の昭和がおわり、平成（1989）になりました。あと10年で21世紀を迎えるという高揚感の中、平成5年3月、「関西花の寺25カ所霊場会」が始まりました。新たに何かを植えるということではなく、境内周辺に自生するありのままの“みつばつつじ”〈4月前半〉の山をいっそう丁寧に手入れをおこないました。山桜、こぶし、山法師などもあり、境内周囲も天然の庭のように散策できるようになりました。木漏れ日が射すことによって、イカリソウ〈3月末～4月中旬〉、笹百合〈5月中旬～6月中旬〉、りんどうや大文字草〈10月～11月〉などの山野草も増えました。春と秋は山野草が多い季節です。本堂裏の「珠山千年石の庭」は三度改修をおこないました。

これからも「山野草」（日本の草花）や「花木」を間近で楽しんでください。



永代供養について

- ◆ 当寺では、永代供養を行っています。宗旨、宗派は問いません。
- ◆ 永代供養は、お仏壇やお墓の世話や、お墓を造る予定のない方のためのものです。
- ◆ 生前予約もしていただけます。
- ◆ 永代供養の方法
 - ・ 当寺持仏堂の納骨壇に個別に安置いたします。
 - ・ 13年間安置し、その後は境内地内の永代供養墓に合祀します。
 - ・ 永代供養料： 一霊 20万円。（お位牌作成の場合は実費と供養料2万円。すでにお位牌がある場合は供養料は不要です。）
 - ・ 供養のあり方：△ いずれの場合も、「永代過去帳」に戒名を記入します。
△ 盆・春秋のお彼岸と年忌法要（一周忌、三回忌など）を行います。
- ご質問は、電話、メール等でお問い合わせください。

水子供養について

- ◆ 略式水子供養 千円
(予約不要)
- ◆ 特別水子供養 一万円
(要 予約)

水子納骨を希望される場合はご相談ください。

(火葬証明書が必要)

ことば

- 「大事なことは、批判でなく勇気を与えること。」
「大切に思えるものを見つけなさい。」
「してほしいことをしてやりなさい。」・・・ 節度も。
- 「名物となるものは、その店の覚悟だ。」（六花亭社長）

